

2021年度事業報告書

特定非営利活動法人 京都市地域ITアドバイザー会

1 事業の成果

2021年度は引き続きコロナウイルス過のなかでの一年でした。

ひとまち交流館は緊急事態宣言が発出されても開館を維持されたので、ほとんどのパソコン市民講座は開催を予定しましたが参加申し込みは低調でした。

今期の特筆すべき活動は、総務省「利用者向けデジタル活用支援推進事業」に携わったことです。事業としては従来から付き合いのある京都市の各区老人福祉センターとひとまち交流館1Fのパソコンコーナーを中心に開催いたしました。採択後の当初はコロナの影響もあり開催が出来ない場面もありましたが、9月に入り順調に開催がされ目標を上回る開催実績を上げることが出来ました。モバイル分野のスキルアップを目指してテキストの配布とMPCPC資格試験受験料を一部補助し、モバイル基礎・実務検定の受験を促進し合計で5名の有資格者を有していることが活動全般に効果を及ぼしていると考えます。

難病連のZOOM並びにYouTube配信など他団体のサポートをさせていただきました。また福祉ボランティアセンターの主催者むけZOOM利用講習に講師を派遣し講習を実施いたしました。

スキルアップにはZOOMを利用した勉強会を実施し効果をあげていると考えます。

準CITA認定研修には6名の参加があり活動が期待されます。

必須カリキュラムのリアル開催も再会しスキルアップを図りました。

Web171普及PR活動を活動テーマとしてとらえているが、今年度PRIはほとんどできなかったが引き続き取り組みます。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数(名)	受益対象者の範囲及び人数(名)	支出額(円)
市民講習 (事業一般市民の高齢者、困窮者を対象にパソコン講習を行う ①②)	ひとまち市民講座 (CITA会直轄として開講) 市民講座、続市民講座	2021/9/25 ～2022/3/12	ひとまち交流館 パソコンコーナー	40	一般市民 高齢者 53	22,204
	上記併催PC相談会 ②④	2021/9/25 ～2022/3/12	ひとまち交流館 パソコンコーナー	1	一般市民 高齢者 3	
	Web171普及PR活動	不開催	ボランティアフェスタ で災害伝言板Web171 体験会実施		一般市民 高齢者	
	パソコン整備 PC40台の機能向上整備	2021/4/1～ 2022/3/31	ひとまち交流館	8	講習会に使用	
	聚楽学区楽友会 パソコン同好会	2021/4/14～ 2022/3/23 月2回	上京区 元聚楽小学校	33	一般市民 高齢者 96	
	下京老人福祉センター スマホ講習	2021/7/20～ 2022/3/15	京都市下京老人福祉センター	47	一般市民 高齢者 128	
	東山老人福祉センター スマホ講習	2021/10/30～ 2022/3/16	東山老人福祉センター	33	一般市民 高齢者 87	
	左京老人福祉センター スマホ講習	2021/9/7～ 2022/3/12	左京老人福祉センター	37	一般市民 高齢者 115	
	福祉ボランティアセンター ZOOM講習	2021/10/28～ 2022/3/24	ひとまち交流館	30	一般市民 高齢者 32	
	中京老人福祉センター スマホ講習	2021/7/12～ 2022/3/14	中京老人福祉センター	33	一般市民 高齢者 92	

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数(名)	受益対象者の範囲及び人数(名)	支出額(円)
	スマホの相談会	2021/3/15～ 2022/3/17	ひとまち交流館	21	一般市民 高齢者 38	
講師紹介コーディネート事業 (地域の団体などから講師紹介依頼があった際にインストラクター登録CITAから講師を紹介する③④)	難病連 ZOOM配信	2021/9/23～ 2021/11/7	ハートピア	30	難病連会員	
	京都喉友会 オンライン解説講演	2021/10/13	関西喉友会研修会	1	一般市民 高齢者 60	
	ハートフルあいりず ZOOM講習	2021/10/13	テルサ	3	精神障害者 4	
総務省スマホ受託事業	総務省 「利用者向けデジタル活用 支援推進事業」	2021/10/11 ～2022/2/17	老人福祉センター ひとまち交流館	145	一般市民 高齢者 339	1,410,809
スマホ・タブレット市民茶話会	スマホ・タブレットの利用 交流会	2021/4/5～ 2022/3/7	パソコンコーナー	28	一般市民 36	0
テキスト作成事業 (新しいテキストの作成や改訂を行う⑤)	スマホ講習用、ZOOM講習 用他テキスト作成	2022/3/31まで	ひとまち交流館京都	8	各講習会に使用	0
準CITA認定講習 (全単位取得を済ませた方を準CITAと認定します⑦)	京都市準地域ITアドバイザー 認定研修 認定証発行	2021/2/27	ひとまち交流館京都	3	一般市民 5	14,000
CITA指導者養成講座 (全単位取得を済ませた方を 正規CITAと認定します⑦)	ワード	2021/7/18	ひとまち交流館 パソコンコーナー	1	準CITA 認定者 3	30,000
	エクセル	2021/8/29	ひとまち交流館 パソコンコーナー	1	準CITA 認定者 3	
	ネットワーク	2021/11/14	ひとまち交流館 パソコンコーナー	1	準CITA 認定者 3	
	CITAポリシー	不開講	ひとまち交流館 パソコンコーナー		準CITA 認定者	
	パワーポイント	2021/10/10	ひとまち交流館 パソコンコーナー	1	準CITA 認定者 3	
	ZOOM勉強会	2021/5/21～ 2022/3/24	ZOOM勉強会 自宅学習 Excelマクロ、NC3	10	準CITA 認定者 80	
	インストラクションと コミュニケーション	2022/3/27	ひとまち交流館 パソコンコーナー	1	準CITA 認定者 6	

貸借対照表

NPO法人 京都市地域ITアドバイザー会
全事業所

[税込] (単位:円)
2022年 3月31日 現在

《資産の部》			
【流動資産】			
(現金・預金)			
現金	26,896		
当座預金	355,951		
普通預金	747,241		
現金・預金計	1,130,088		
(売上債権)			
未収金	1,128,000		
売上債権計	1,128,000		
(その他流動資産)			
前払費用	9,960		
その他流動資産計	9,960		
流動資産合計		2,268,048	
【固定資産】			
(有形固定資産)			
什器備品	1		
有形固定資産計	1		
(無形固定資産)			
ソフトウェア	1		
無形固定資産計	1		
固定資産合計		2	
資産合計			2,268,050
《負債の部》			
【流動負債】			
未払金	1,060,949		
流動負債合計		1,060,949	
負債合計			1,060,949
《正味財産の部》			
前期繰越正味財産		1,200,059	
当期正味財産増減額		7,042	
正味財産合計		1,207,101	
負債及び正味財産合計			2,268,050

財 産 目 録

NPO法人 京都市地域ITアドバイザー会
全事業所

[税込] (単位:円)
2022年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現 金	26,896
当座 預金	355,951
普通 預金	747,241
現金・預金 計	<u>1,130,088</u>

(売上債権)

未 収 金	1,128,000
売上債権 計	<u>1,128,000</u>

(その他流動資産)

前払 費用	9,960
その他流動資産 計	<u>9,960</u>

流動資産合計

2,268,048

【固定資産】

(有形固定資産)

什器 備品	1
有形固定資産 計	<u>1</u>

(無形固定資産)

ソフトウェア	1
無形固定資産 計	<u>1</u>

固定資産合計

2

資産合計

2,268,050

《負債の部》

【流動負債】

未 払 金	<u>1,060,949</u>
-------	------------------

流動負債合計

1,060,949

負債合計

1,060,949

正味財産

1,207,101

活 動 計 算 書

[税込] (単位: 円)

NPO法人 京都市地域ITアドバイザー会

自 2021年 4月 1日 至 2022年 3月31日

【経常収益】			
【受取会費】			
正会員受取会費		114,000	
【受取寄付金】			
受取寄付金		247,260	
【事業収益】			
受託事業収益	1,128,000		
市民講習事業①②	26,000		
講師コーディネート事業③④	295,000		
準CITA認定講習事業⑦	15,000		
CITA指導者養成講座事業⑦	15,000	1,479,000	
【その他収益】			
受取 利息	7		
雑 収 益	64,000	64,007	
経常収益 計			1,904,267
【経常費用】			
【事業費】			
市民講習事業①②	22,204		
講師コーディネート事業③④	57,451		
CITA指導者養成講座事業⑦	77,403		
総務省デジタル活用支援③	1,656,229		
(人件費)			
人件費計	0		
(その他経費)			
その他経費計	0		
事業費 計		1,813,287	
【管理費】			
(人件費)			
人件費計	0		
(その他経費)			
通信運搬費	59,916		
賃 借 料	23,822		
支払手数料	200		
その他経費計	83,938		
管理費 計		83,938	
経常費用 計			1,897,225
当期経常増減額			7,042
【経常外収益】			
経常外収益 計			0
【経常外費用】			
経常外費用 計			0
税引前当期正味財産増減額			7,042
当期正味財産増減額			7,042
前期繰越正味財産額			1,200,059
次期繰越正味財産額			1,207,101

2022年度事業計画書

特定非営利活動法人 京都市地域ITアドバイザー会

自 2022年 4月 1日 至 2023年 3月31日

今年度もリモートで総会開催を行ったが、広く参加を募れることはリモートの良い点であり、録画なども並行して行えるのでこれからも採用したい。

また、パソコン・スマホの普及に変化があり正CITA認定に対してあらたな資格条件を検討する必要があったが、スマホサポート事業は大きく影響し検討は進んでいない。検討課題としては、大きくは正CITA条件からの講師要件をはぶき、別資格としてCITA講師資格を設定する。さらに正CITA資格をOFFICEとモバイルに分け、OFFICE CITA認定条件にMOS資格を持つ方には必須カリキュラム受講免除をカリキュラムごとに設定する。またモバイルについては「モバイル実務検定、モバイル基礎検定」の合格をもってモバイルCITA認定要件をクリアしたものとす。ただし「コミュニケーションスキルとプレゼンテーションスキル」の受講は必要である。CITA講師認定にあたっては、講師講座の受講後、模擬講習の実施と認定試験を実施する。

以上であるが、今期この内容を吟味し成案をえて実施する。

今年度の必須カリキュラム実施については可能な限り感染防止のうえ集合研修を十分に配慮し実施する。パソコン市民講座に加えてスマホの講座開発も課題として進める。CITAのスキルアップについても受講バウチャー券の発行や、スマホテキストの配布、検定の受験補助なども今年度続けて行く。

2022年度は感染防止対策のうえ講習会を開催する。スマホサポート事業として「スマホ・タブレット茶話会」と「スマホの相談会」をひとまち交流館で開催する。総務省「令和4年度利用者向けデジタル活用支援推進事業」に実施事業者として申請をしています。採択を受けた場合は協力をよろしく願いたい。全般的にパソコン講習の需要は減少しているがスマホの普及にともなう依頼が増えている。モバイル分野のスキルアップを目指してテキストの配布と資格試験受験料、合格者の認定書発行費、更新料を一部補助し取得を促進する。この検定の合格を目指して検定を受験する中で、一定検定のレベルを確認することができ、CITAの能力確認に効果があると考え。スキルアップにはZOOMを利用した勉強会を実施したが効果をあげたと考えるので続行する。パソコン講習需要減少は著しいと感じるが、マクロなど仕事を効率よく進める為の需要はあるのではないかと捉えて2022年度は検討実施していく。初歩的な操作講習から初級、発展形、楽しめるパソコンを切り口に、その所にマッチした講習の展開を模索して行く。サポートする私たちのモチベーションを維持することもままならないが、ZOOMを利用した講習や勉強会の開催に習熟し使用方のサポートができるようにすすめる。Web171普及PR活動を活動テーマとしてとらえており引き続きすすめる。長期にわたり活動に様々な貢献をされた方で、ご事情により一線を退かれた方を顕彰し「名誉CITA」とさせて頂く。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数
①市民や各種団体を対象とした初歩的なICT利用講習会、事業を行うために必要な講師、又は援助者の技量向上のための講習会や研究会を行う	一般市民の高齢者、困窮者を対象にパソコン講習を行う	通年	ひとまち交流館など	120名	高齢者及び困窮者 250名
	Web171の普及PR活動を行う①	通年	京都市		依頼団体による
	総務省利用者向けデジタル支援事業	2023年2月まで	京都市	30名	依頼団体による
②市民や各種団体を対象にICTの利用相談会を行う	市民PC相談会	通年	ひとまち交流館など		
③市民や各種団体を対象にICTリテラシー向上を目的に講師派遣や紹介を行う	地域の団体などから講師紹介依頼があった際にインストラクター登録CITAから講師を紹介する③	通年	京都市	30名	依頼団体による
④市民や各種団体を対象に、その他ICTに関する諸問題の解決をはかる事業を行う	地域の団体などから講習依頼があった場合講師と選定し講習会を開催する④	通年	京都市	30名	依頼団体による

⑤①～④の事業を行うために必要なテキスト、参考書の開発と管理を行う	新しいテキストの作成や改訂を行う。シニアスマホ検定の研究⑤	通年	京都市		
⑥①～④の事業を行うために地域で開設されたC I T A ・ I G T サロンの認定を行う	C I T A サロンを認定し、受講希望者に紹介をする。⑥ 希望があれば認定を検討する	通年	京都市		
⑦①～④の事業を行うために会員の技量について認定を行う	全単位取得を済ませた方を準C I T A と認定します⑦	毎年2月	ひとまち交流館京都	5名	一般市民10名
	基礎講座で指導者養成講座前の基本確認⑦	通年	ひとまち交流館京都	2名	CITA会員10名
	必要単位取得を済ませた方を正規C I T A と認定します⑦	通年	ひとまち交流館京都	5名	準CITA10名
	講師養成講座、講師認定検定を済ませた方をC I T A 講師と認定します⑦	通年	ひとまち交流館京都	5名	準CITA10名

2022年度活動予算

NPO法人 京都市地域ITアドバイザー会
全事業所

[税込] (単位:円)

自 2022年 4月 1日 至 2023年 3月31日

【経常収益】		
【受取会費】		
正会員受取会費	150,000	
【受取寄付金】		
受取寄付金	300,000	
【事業収益】		
受託事業収益	1,250,000	
市民講習事業①②	30,000	
講師コーディネート事業③④	300,000	
準CITA認定講習事業⑦	15,000	
CITA指導者養成講座事業⑦	15,000	
【その他収益】		
受取利息	0	
雑収益	50,000	
経常収益計	50,000	2,110,000
【経常費用】		
【事業費】		
市民講習事業①②	250,000	
講師コーディネート事業③④	280,000	
CITA指導者養成講座事業⑦	80,000	
総務省デジタル活用支援③ (人件費)	1,250,000	
人件費計	0	
(その他経費)		
その他経費計	0	
事業費計	0	1,860,000
【管理費】		
(人件費)		
人件費計	0	
(その他経費)		
通信運搬費	60,000	
賃借料	24,000	
支払手数料	10,000	
その他経費計	94,000	
管理費計	94,000	
経常費用計	1,954,000	94,000
当期経常増減額	156,000	1,954,000
【経常外収益】		
経常外収益計		0
【経常外費用】		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		156,000
当期正味財産増減額		156,000
前期繰越正味財産額		1,207,000
次期繰越正味財産額		1,363,000

費用については科目の流用を認める